

がん薬物療法認定薬剤師研修事業 研修施設一覧（令和元年度研修生受入予定を含む）

○:受入可能、×:受入不可能、-:未定(令和元年5月現在)

	都道府県	研修施設	第1期 (9/2(月)～ 11/15(金))	第2期 (1/6(月)～ 3/19(木))	研修の特徴(任意)
1	北海道	北海道がんセンター	○	○	
2	北海道	北海道大学病院	○	○	
3	北海道	旭川医科大学病院	○	×	
4	北海道	札幌医科大学附属病院	×	×	
5	北海道	市立函館病院	×	×	
6	北海道	製鉄記念室蘭病院	○	○	
7	北海道	王子総合病院	○	○	外来化学療法での研修時間を比較的多く設けております。患者対応はもちろんのことですが、外来治療におけるチーム医療に取り組んでおります。
8	青森県	弘前大学医学部附属病院	○	○	外来化学療法室で投与を受ける患者すべてに患者面談(指導)を行い、介入を要する場合には積極的に介入している。
9	岩手県	岩手医科大学附属病院	×	×	
10	岩手県	岩手県立中央病院	×	×	
11	宮城県	東北大学病院	○	×	
12	山形県	山形県立中央病院	○	×	
13	山形県	山形大学医学部附属病院	○	○	がん治療において、薬剤経済研究に力を入れている。学会発表、論文執筆もしている。
14	山形県	公立置賜総合病院	×	×	
15	福島県	慈山会医学研究所附属坪井病院	○	○	薬剤師外来では少ない時間で副作用を評価し処方提案まで行っている。これを経験することで幅広い臨床推論が可能となる。
16	福島県	竹田総合病院	○	○	プロトコルに基づく薬物治療管理(PBPM)やフィジカルアセスメント技術を使用した薬剤管理を行っています。薬剤師外来では調剤薬局との連携をとりながら薬剤アセスメントを実施しています。
17	茨城県	筑波大学附属病院	×	×	
18	茨城県	株式会社日立製作所日立総合病院	○	○	病棟、薬剤師外来を含め積極的に薬学的介入を行いチーム医療に貢献しています。
19	茨城県	茨城県立中央病院	○	○	都道府県がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院として、専門的ながん医療の提供を行っている。また外来化学療法部門に専任の薬剤師を複数名配置し、積極的に関与している。
20	茨城県	総合病院 土浦協同病院	○	○	
21	栃木県	栃木県立がんセンター	○	○	がん専門病院であり、様々ながん種の症例を学ぶとともに、医療職間の距離が近く多角的な視点でがん薬物療法を遂行できる。
22	群馬県	群馬大学医学部附属病院	○	○	症例数も多く、適応外使用についても、院内ルールに従い審議され使用されている。
23	群馬県	群馬県立がんセンター	×	○	チーム医療を重視し、他職種の講義・業務の見学を多数取り入れ、薬剤師としてだけでなく、他職種のカも合わせたより優れた医療を患者に提供できるよう、研修してもらっている。
24	埼玉県	上尾中央総合病院	○	○	外来指導の担当薬剤師を配置し、副作用モニタリングや処方提案を行っている。
25	千葉県	千葉大学医学部附属病院	○	○	
26	千葉県	国立がん研究センター東病院	○	○	入院・外来での化学療法 両方に対して薬剤師が深く関与、介入を行っている。またチーム医療が特に充実して取り組まれている。
27	千葉県	千葉県がんセンター	×	×	専門性の高い薬剤師が、適応外使用やレジメン作成・管理に深く関与するとともに薬業連携や抗がん剤曝露対策・環境汚染対策にも力を入れている。
28	神奈川県	横浜市立大学附属病院	×	○	
29	神奈川県	神奈川県立がんセンター	○	○	外来化学療法件数は一日平均85件程度(概算)であり、5大がんでなく、その他のがん種に対するがん薬物療法に関わることが出来ます。
30	神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院	×	○	
31	神奈川県	昭和大学横浜市北部病院	×	○	緩和ケア病棟を有している。
32	神奈川県	日本医科大学武蔵小杉病院	○	○	
33	東京都	がん研有明病院	×	-	
34	東京都	国立がん研究センター中央病院	○	○	薬剤管理指導業務を中心に臨床業務での研修時間を多く確保できるプログラム構成となるよう心がけている。
35	東京都	聖路加国際病院	○	○	
36	東京都	日本医科大学付属病院	○	○	
37	東京都	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	○	×	
38	東京都	日本大学医学部附属板橋病院	×	×	
39	東京都	東京医科大学病院	○	○	
40	東京都	東京女子医科大学病院	○	○	
41	東京都	国立病院機構 東京医療センター	×	○	薬剤師外来の取り組みを外科系、内科系診療科と共に推進しており、入院のみならず外来がん治療にも幅広く対応しています。
42	東京都	N T T 東日本関東病院	×	○	
43	東京都	東京慈恵会医科大学附属病院	×	×	
44	東京都	東邦大学医療センター大森病院	×	○	経口抗がん薬を含むレジメン(外来のみ)では、薬業連携を実施し地域の保険薬局からの情報を基に処方提案等を行い、安全で効果的ながん化学療法を実施している。
45	東京都	国立研究開発法人国際医療研究センター病院	○	○	
46	東京都	東京都済生会中央病院	×	×	
47	東京都	順天堂大学附属順天堂医院	×	○	
48	東京都	日本医科大学多摩永山病院	○	○	外来化学療法への関わりも積極的に取り組んでおり、患者指導や処方提案を外来診察の前や診察中にも関わっている。
49	新潟県	新潟県立がんセンター新潟病院	×	×	
50	長野県	信州大学医学部附属病院	○	○	肺癌、乳癌、消化器癌、婦人科癌をはじめ、他に成人・小児の血液がん、悪性黒色腫、泌尿器癌、脳腫瘍、頭頸部癌、軟部腫瘍と多種類のがん診療を行っている。またがんのクリニカルシーケンスに関する部門もあり、そこに薬剤師も参画している。

がん薬物療法認定薬剤師研修事業 研修施設一覧（令和元年度研修生受入予定を含む）

○：受入可能、×：受入不可能、-：未定（令和元年5月現在）

	都道府県	研修施設	第1期 (9/2(月)～ 11/15(金))	第2期 (1/6(月)～ 3/19(木))	研修の特徴（任意）
51	長野県	長野市民病院	×	×	
52	長野県	長野赤十字病院	○	○	
53	長野県	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	○	○	・がん化学療法を行う患者の抗菌薬管理、栄養管理をフォローする体制がある。 ・がん薬物連携が積極的に行われている。
54	長野県	長野厚生連北信総合病院	○	○	当院では、抗がん剤は100%薬剤師が調製し、プライミングをして払い出す等、曝露対策に積極的に取り組んでいる。また専門医がいない中、化学療法検討委員会の事務局として、薬剤師主導のレジメン管理を行っている。
55	長野県	長野厚生連佐久医療センター	○	×	入院・外来問わず継続的に患者の治療に関わり、医師・看護師等と積極的にコミュニケーションを取りながら質の高い医療を目指して取り組んでいる。
56	富山県	富山大学附属病院	×	○	
57	富山県	富山労災病院	○	○	レジメン管理、支持療法に積極的に取り組んでいます。
58	福井県	福井大学医学部附属病院	×	○	
59	静岡県	聖隷三方原病院	○	○	
60	静岡県	静岡県立静岡がんセンター	○	○	
61	静岡県	静岡県立総合病院	×	○	副作用対策を含めたすべてのレジメン作成及び管理に関わり、注射及び内服薬の抗がん薬治療を行うほとんどの患者に対し介入し、医師へ提案している。
62	静岡県	聖隷浜松病院	×	○	
63	岐阜県	岐阜大学医学部附属病院	○	○	外来・入院でがん化学療法を受ける全患者に対して服薬指導、支援を行い、また外来通院患者には薬剤師外来を実施し、副作用に対するマネジメントに責任を持ち業務に取り組みながら薬剤師外来の重要性のアウトカム評価や患者のQOL評価を中心に力を入れている。
64	岐阜県	大垣市民病院	×	○	症例数が多く、多岐にわたるがん種を経験できる。
65	愛知県	安城更生病院	×	○	
66	愛知県	藤田医科大学病院	×	×	
67	愛知県	愛知県がんセンター中央病院	×	×	
68	愛知県	愛知医科大学病院	○	○	
69	愛知県	名古屋第一赤十字病院	×	○	多癌種の治療を集約化しており、短期間で多くの症例を経験することができる。
70	愛知県	名古屋大学医学部附属病院	○	○	小児がん拠点病院のため小児の化学療法、緩和治療にも積極的に取り組んでいる。 適応外使用、レジメン管理にも関与している。
71	愛知県	J A 愛知厚生連 江南厚生病院	×	○	
72	三重県	三重大学医学部附属病院	×	○	小児がん拠点病院であり、小児に対する適応外使用についても委員会を通じて数多く審査されている。がんチーム医療に薬剤師も積極的に参画している。
73	三重県	伊勢赤十字病院	○	○	・外来化学療法室に隣接した薬剤部化学療法課を設置し、調剤から調製、治療説明を行なっている。 ・H31.4.1より薬剤師外来を開始した。
74	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院	○	○	抗がん薬の点滴治療を受ける、外来患者すべてに薬学的介入を行っており、副作用モニタリングやマネジメントについては力を入れて業務を行っている。
75	滋賀県	滋賀県立総合病院	○	○	当院は都道府県がん診療連携拠点病院であり、多くのがん種に関与することができる。特に外来では経口抗がん薬を中心に積極的な介入をしており、保険薬局と症例検討会を通して、より充実した薬物療法へのアプローチを行っている。
76	京都府	京都桂病院	○	○	
77	京都府	京都大学医学部附属病院	○	○	1. 薬剤師外来と地域の保険薬局薬剤師が連携して、安全ながん治療を実施する体制を構築している。（トレーニングレポート等を活用したサポート体制） 2. ゲノム医療のエキスパートパネルと密に連携しゲノム検査に基づく適応外使用を安全かつスムーズに実施できる体制を構築している。
78	京都府	国立病院機構 京都医療センター	○	○	特定の癌種にとどまらず、幅広い癌種について学ぶことが出来る。また、医療安全にも力を入れており、曝露対策、レジメン管理、若手薬剤師の育成等にも積極的に取り組んでいる。
79	兵庫県	神戸大学医学部附属病院	○	○	
80	兵庫県	兵庫医科大学病院	×	×	
81	兵庫県	神戸市立医療センター中央市民病院	○	○	
82	兵庫県	神戸低侵襲がん医療センター	○	○	放射線治療専門病院として、様々な病院から紹介患者を受け入れており、また腫瘍内科でも様々な癌種の患者がこられます。緩和ケア病棟もあり治療・IVRも行っており、手術以外の治療に積極的に関わることができます。病床数80床と小規模だからこし、コメディカルとも密に連携をとり、フットワーク軽く治療に関わることができます。
83	奈良県	奈良県立医科大学附属病院	×	×	
84	和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院	○	○	がんに関連する薬剤師主導の臨床研究を行っており今後も力を入れていく方針である。
85	和歌山県	日本赤十字社和歌山医療センター	○	○	
86	大阪府	堺市立総合医療センター	○	○	多くのチームカンファレンスに参加し、治療方針決定プロセスにおいて薬剤師の専門性を発揮することができます。
87	大阪府	大阪大学医学部附属病院	×	○	
88	大阪府	大阪国際がんセンター	×	○	特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院である。
89	大阪府	近畿大学病院	○	×	通院治療センターで行う外来化学療法では、医師・看護師とのカンファレンスや、患者毎に薬剤師・看護師によるカルテチェック・情報共有で安全に治療が施行されるよう対応している。
90	大阪府	大阪労災病院	×	×	
91	大阪府	大阪市立大学医学部附属病院	○	○	
92	大阪府	大阪医科大学附属病院	○	○	地域がん診療連携拠点病院（高度型）、がんゲノム医療連携病院であり、がんセンターボード、ゲノムエキスパートパネルに参加している。
93	大阪府	生長会府中病院	×	○	
94	大阪府	田附興風会医学研究所 北野病院	○	○	統計家が在籍しているので、臨床研究の統計解析について相談できます。 抗がん剤の医師主導試験を実施しています。
95	大阪府	淀川キリスト教病院	○	○	・外来化学療法センターに常駐し、副作用管理や積極的な処方提案等を行っている。 ・ホスピス病棟にも薬剤師が常駐し、一般病棟で緩和ケアを行っている患者にも介入している。
96	大阪府	関西電力病院	○	○	レジメン管理の適正化に力を入れておりレジメン管理に関し医師、看護師とコミュニケーションをとり実施している。また、副作用管理にも力を入れており外来、入院問わず医師と協働し対応を検討している。
97	大阪府	国立病院機構 大阪医療センター	×	○	
98	鳥取県	鳥取大学医学部附属病院	○	○	適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど責任を担って業務に取り組んでいる。
99	鳥根県	鳥根大学医学部附属病院	×	○	2019年度よりゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤師として参画予定である。外来・病棟での患者指導のみならず、適応外使用がレジメン管理にも関与し、専門性の高い薬剤師の視点から薬物治療の適正化に寄与している。

がん薬物療法認定薬剤師研修事業 研修施設一覧（令和元年度研修生受入予定を含む）

○：受入可能、×：受入不可能、－：未定（令和元年5月現在）

	都道府県	研修施設	第1期 (9/2(月)～ 11/15(金))	第2期 (1/6(月)～ 3/19(木))	研修の特徴（任意）
100	島根県	国立病院機構 浜田医療センター	×	×	
101	岡山県	岡山大学病院	○	○	ゲノム医療中核拠点病院であり、エキスパートパネルへの正式メンバーとして薬剤師も参画している。
102	岡山県	倉敷中央病院	○	○	レジメン管理に深く関与しています。また、入院病棟や外来化学療法センターに薬剤師が常駐して、医師、看護師と連携して科学的根拠に基づいた化学療法を提供しています。
103	広島県	広島大学病院	○	○	がん化学療法や緩和ケアのチーム医療への参加を含めた網羅的なカリキュラムで多数のがん研修生を受け入れており希望や経験に応じた研修をサポートしています。
104	徳島県	徳島大学病院	○	○	
105	徳島県	徳島県立中央病院	○	○	医師の診断前相談（薬剤師外来）を実施しており、副作用の確認や支持療法の提案を行う等で、患者さんに継続的な関わりができています。
106	徳島県	徳島赤十字病院	○	○	薬剤師外来で様々なレジメンの副作用対策に取り組んでいる。ガイドラインのない領域の支持療法についても文献等検索して対応している。
107	香川県	香川県立中央病院	×	○	各職種と顔が見える関係、話し合える関係を築いており、病棟薬剤業務、外来化学療法、緩和ケア、がんゲノム医療など、様々な専門領域で活動しています。
108	愛媛県	四国がんセンター	○	○	
109	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院	○	○	薬剤師が、がん化学療法委員会の事務局として適応外使用、レジメン管理に深く関与している。化学療法、緩和医療において保険薬局と共働して薬物管理を行っている。
110	愛媛県	愛媛県立中央病院	○	×	
111	愛媛県	市立宇和島病院	○	○	
112	高知県	高知医療センター	×	×	
113	高知県	高知赤十字病院	○	○	
114	山口県	国立病院機構 山口宇部医療センター	×	×	
115	山口県	国立病院機構 岩国医療センター	○	○	がん化学療法の円滑な運用を目指して、チーム医療の実践に努めています。又、最新のレジメン、治療、臨床研究にも多く携わることができると考えています。
116	福岡県	九州大学病院	○	○	
117	福岡県	福岡大学病院	×	×	
118	福岡県	久留米大学病院	○	○	23の診療科の他、外来治療センター、集学治療センター、緩和ケアセンターを有しており、幅広くがん薬物療法を体得することができる。
119	福岡県	産業医科大学病院	○	○	
120	福岡県	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	○	○	
121	福岡県	地域医療機能推進機構 九州病院	○	○	造血幹細胞移植学会の認定施設であり、血液内科領域を深く学ぶことができる。
122	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	○	○	適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
123	佐賀県	佐賀県医療センター好生館	○	○	
124	長崎県	長崎大学病院	○	○	病棟での薬剤管理指導に加え、抗がん剤の適応外使用やレジメン管理に、専門性の高い薬剤師が積極的に関与し、薬学的な視点から意見を述べる等の活動を行っている。さらに、研修期間中は研究マインドの育成にも取り組んでいる。
125	長崎県	国立病院機構 長崎医療センター	×	○	がん認定、専門資格を有する薬剤師が4名在籍しており、専門的で質の高い充実した研修を実施することができる。また、レジメン委員会の事務局であり、レジメン管理にも深く関与している。
126	大分県	中津市立中津市民病院	×	○	院内スタッフへレジメンや副作用、その対策に関する教育に薬剤師も一緒に取り組んでいる。また、地域のスタッフとの合同の研修会を行ったりしている。口腔ケアの方法、FNでの細菌検査室実習も取り入れており、がん化学療法に対して薬剤師の視点で様々な業務に取り組んでいる。
127	大分県	大分大学医学部附属病院	○	○	がん患者以外の疾患を有する患者へも薬剤管理指導を実施し、広い知識を習得すると共にがん患者の外来化学療法、移植医療に深く関与し専門性の高い視点から業務に取り組んでいる。更にがんに関連する研究テーマを持ちクリニカルクエストを解決するための計画や技術を習得し臨床研究を実施している。
128	熊本県	熊本大学医学部附属病院	×	○	
129	鹿児島県	鹿児島大学病院	○	○	
130	鹿児島県	今給黎総合病院	○	○	27診療科を有する当院では、多岐にわたるがん種において多職種で集学的治療を行っている。レジメン管理、カンファレンスや免疫療法会議などでも、専門性の高い薬剤師の役割を果たすべく努力している。
131	鹿児島県	鹿児島厚生連病院	○	○	医療薬学会がん専門薬剤師の研修施設として6年間の実績があり外部より累計6名入れてきておりますのでより質の高い研修が期待できると思います。
132	鹿児島県	鹿児島市立病院	×	○	
133	沖縄県	琉球大学医学部附属病院	○	○	

※受入予定は、現在の予定であり、今後変更になる可能性がありますのでご了承下さい。